

びわ学ユーカレッジ 2024

びわ学ユーカレッジとは？

びわこ学院大学が実施する「地域出前授業」のことで、本学教員が学外に出向いて講義を実施するものです。

ユーカレッジには、「You(あなた)のための学び」、「遊び感覚で楽しく学ぶ」などの意味が込められています。自治体などの公的機関、市民団体、企業、NPO等の研修でご活用ください。

授業概要

時間:60分~90分

開催日:原則、土曜・日曜・祝日
を除く平日

申込:各年度に1機関2回まで
※実施希望日の2ヶ月前を目途にお申込み
ください。

開講分野

A:教育・子育て B:スポーツ
C:人権・福祉 D:芸術・音楽
E:文化・歴史 F:情報技術・科学
G:健康・ライフスタイル
H:環境・防災
I:政治・経済・ビジネス J:その他

次頁の出前授業一覧(大学Webサイトの授業メニュー詳細)をご参照ください。

費用等

1講義 10,000円(税込)

・交通費を含んだ金額です。
・期日までに、指定の金融機関にお振込みください。

高校生を対象にした講義は、ビワガクプレカレッジをご参照ください。

【注意】 営利目的の事業(申込機関が必要経費以外の集金を行う事業や販売目的のイベント等、本学が不適当と判断する事業)における講義はお申込みいただけません。

お申込みから実施までの流れ

- ①【申込】 メニューから希望する授業を選択し、FAXまたはメールで申込書を送付してください。(1講義につき申込書は1枚、2講義申し込む場合は2枚の申込書が必要です。)
- ②【調整】 本学からお電話で申込内容の確認をさせていただきます。その後、大学内で講師と調整し開催が決定しましたら、本学から開催決定通知と請求書を送付します。
- ③【打合】 必要に応じて、内容の詳細や準備物等について、講師と打ち合わせをお願いします。また、実施1週間前を目途に、受講人数をお知らせください。
- ④【実施】 講義実施にかかる準備、会場設営等は申込機関でお願いします。終了後、指定期日までに指定の金融機関にお振込みください。

その他、ユーカレッジに関するご相談やご質問は、以下までお願いします。



担当 びわこ学院大学
地域・産学連携研究支援課
住所 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29
TEL 0748-35-0005(直通)
FAX 0748-23-7202
E-mail ex-link@newton.ac.jp
HP <https://www.biwakogakuin.ac.jp/>



大学webサイト

びわこ学院大学／びわこ学院大学短期大学部 2024ユークレジット(地域出前授業)科目一覧

A／教育・子育て B／スポーツ C／人権・福祉 D／芸術・音楽 E／文化・歴史
 F／情報技術・科学 G／健康・ライフスタイル H／環境・防災 I／政治・経済・ビジネス J／その他

NO	分野	タイトル	役職	講師氏名
1	A	子どもたちの命を守るために（事故予防と緊急時の対応(熱中症、食物アレルギー、心停止)）	教授	岩崎 信子
2	A	親子運動遊び（子どものからだところへ“つながる遊び”）	教授	奥田 愛子
3	A	子どものメンタルケア	教授	奥田 愛子
4	A	子どもの大好きなおもちゃを作しましょう！	講師	杉本 栄子
5	A	世界にたった一つの私の絵手紙を描きましょう！	講師	杉本 栄子
6	A	遊びが学びへとつながる保育の質（ワクワク・ドキドキ遊び体験）	教授	中井 清津子
7	A	対人関係を学ぶ（エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう！）	教授	南 雅則
8	A	事例検討をみんなで楽しく！（PCAGIP法を使った事例検討の体験）	教授	南 雅則
9	A	子どもの自信を育てる	教授	箱家 勝規
10	A	古代の大学は滋賀県に置かれていた（渡来人と教育・学問について）	教授	光川 康雄
11	A	映画で考える子ども学・教育学	准教授	渡辺 雅幸
12	A	「インクルーシブ教育」ってなに？	助教	久保田 裕斗
13	A	障害のある子どもをもつ親の力(ベトナムにおけるフィールドワークをつうじて)	准教授	白銀 研五
14	AC	アンコンシャスバイアスについて考えてみよう	講師	残華 雅子
15	AC	利用者支援事業とは何か（ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて）	准教授	榎本 祐子
16	AC	乳幼児の親(保護者)との援助関係の築き方 (「やってあげたい援助」ではなく「求められる援助」ができるようになるために)	准教授	榎本 祐子
17	ADG	楽器を使った楽しい音楽リクリエーション(幼児、児童、学生、高齢者、障がいがあるすべての方に)	講師	竹下 則子
18	ADG	みんなで歌おう！心のうた	講師	竹下 則子
19	AE	学びのふるさとを寺子屋にたずねて(基礎編)	准教授	和田 充弘
20	AE	学びのふるさとを寺子屋にたずねて(応用編)	准教授	和田 充弘
21	AF	だれもが夢中になれる大人の科学実験	教授	箱家 勝規
22	AG	みんなで協力して頑張ることはなぜ難しい？	講師	残華 雅子
23	AJ	気になる子どもたち、あるいは、困っている子どもたちへの支援と配慮 (特別支援・合理的配慮提供に必要なアセスメントの実際)	教授	新平 鎮博
24	B	地域で考える子どもたちのスポーツ環境(運動部活動の地域移行について)	講師	祐末 ひとみ
25	B	スポーツで地域活性化(誰もが健康で住みよい地域に必要な場所づくり)	講師	祐末 ひとみ
26	B	みんなでバスケットボール（元プロバスケット選手がバスケを指導する）	講師	小野寺 恵介
27	B	初心者を対象にした空手教室	教授	深田 直宏
28	B	運動が苦手な小学生の運動教室	教授	深田 直宏
29	B	スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ	教授	吉見 謙
30	B	なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか（～スポーツ科学の知見から～）	教授	吉見 謙
31	B	知っている役に立つ 競技力向上のためのスポーツ医科学	准教授	高木 俊

NO	分野	タイトル	役職	講師氏名
32	BG	いきいき健康運動（軽運動で心と体をリフレッシュ）	講師	竹内 早耶香
33	BG	運動とメンタルヘルス（ストレスマネジメントにつなげるには？）	講師	竹内 早耶香
34	C	コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ	教授	片山 弘紀
35	C	コミュニケーションゲーム	教授	片山 弘紀
36	C	知的障害や発達障害のある人への読書支援	教授	藤澤 和子
37	C	わかりやすい情報提供（リライトや読み聞かせの実習を通して）	教授	藤澤 和子
38	C	認知症ケア 若年性認知症の早期発見（太田正博さんの10年～そして人生は続く～）	准教授	山 和美
39	C	介護福祉士の専門性について（介護福祉職のコミュニケーションとは）	講師	山ノ井 勉
40	C	介護過程におけるアセスメント（介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて）	講師	山ノ井 勉
41	C	介護技術の基礎（負担の少ない移乗・移動方法）	講師	吉原 真紀
42	C	介護技術の基礎（ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換）	講師	吉原 真紀
43	CH	障害のある人たちの3.11（「命のことづけ」～死亡率2倍、障害のある人たちの3.11～）	准教授	山 和美
44	D	体を使って楽しく歌おう!!（腹式呼吸って何？）	講師	林 育子
45	D	もっと上手に歌ってみたい（歌っていいんだよ、もっと発散しよう!!）	講師	林 育子
46	D	ここにしか咲かない花（水彩絵の具や色紙を使って不思議な花を咲かせましょう）	講師	和田 健一
47	D	<紙工作> 楽しい螺旋（らせん）ロード	講師	和田 健一
48	E	和歌でつながる（一本居宣長を事例として）	教授	榎本 恵理
49	F	簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう！	教授	長嶺 共全
50	G	健康へのアプローチ！こころもからだも元気になろう！	教授	新平 鎮博
51	G	「健康至上主義社会」のなかで病や障害と共に在ること	助教	久保田 裕斗
52	G	簡単ストレッチと自体重のトレーニング（運動不足解消でストレス解消！）	講師	小野寺 恵介
53	G	高齢者に多い病気とその対策（まだまだこれから！）	教授	新屋 久幸
54	G	メンタル不調への対応（こころの病気への気づきと対応）	教授	新屋 久幸
55	G	教養のためのスポーツ医科学体験	准教授	高木 俊
56	H	地域における自然災害への取り組み（いまの備えは、それで十分ですか？）	教授	烏野 猛
57	I	クレームや苦情への対応（カスタマー・ハラスメントを含め）	教授	烏野 猛
58	I	絵本の世界を楽しもう（絵本から見える子どもの世界）	講師	川副 知佐
59	I	グローバル化の中の異文化理解	教授	パン ジュイ 逢 軍
60	I	近江鉄道の活用による地域活性化	教授	パン ジュイ 逢 軍
61	I	近江における「聖徳太子」信仰（『聖徳太子伝暦』を中心に）	教授	光川 康雄
62	I	教職入門の入門	准教授	渡辺 雅幸
63	J	みんなで守ろういのち（救命手当）	教授	内藤 紀代子
64	J	絵本から読み解く異文化理解	准教授	白銀 研五

出前授業申込書

申込日： 年 月 日

団体名	
部署名	
ご担当者	
ご住所	〒
T E L	
F A X	
E-mail	

希望授業名	第1希望	授業No.	授業タイトル
	第2希望	授業No.	授業タイトル
希望開催日時	第1希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間)	
	第2希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間)	
受講者数	予定 ・ 確定		名
実施場所			

ご連絡欄

.....

.....

.....

.....

お問い合わせ
お申し込み先

びわこ学院大学
びわこ学院大学 短期大学部

地域・産学連携研究支援課

☎ 0748-35-0005(直通) 📠 0748-23-7202

☎ 0748-22-3388(代表) ✉ ex-link@newton.ac.jp

〒527-8533 滋賀県東近江市布施町 29